

テーマ：保健人材・システムの基盤整備

1. 母子保健サービスへのアクセス向上

- 保健施設の整備（産科棟）
- 巡回診療
- 医療従事者の母子保健サービスの基礎知識・技術の向上
- コミュニティ保健人材の育成

2. 栄養・水衛生行動の改善

- コミュニティ保健人材に対する栄養研修の実施
- コミュニティでの栄養改善のための取り組みを強化
- コミュニティと学校において適切な衛生知識と行動の浸透

3. 保健システムの強化

- アドボカシー・グループの立ち上げ、研修
- ベースライン調査

1. 母子保健サービスへのアクセス向上



産科棟整備
(ミドイナ診療所, 2020年11月)



産科棟整備
(ジャリブニ診療所, 2020年11月)



巡回診療の様子 (ミドイナ診療所, 2020年9月)



世帯訪問中に子どもに
ビタミンA剤を投与する村落保健員

1. 母子保健サービスへのアクセス向上



事業地の診療所の医療従事者（準医師・看護師）対象
知識・技術研修（2020年9月）



村落保健員の月次会議（ジャリブニ診療所,2020年9月）

ミドイナ地域でMother to Motherグループを結成

14グループ・126名

ピア・エデュケーション活動として、同じ悩みや考えを持った母親同士で正しい情報を伝えていくことで、保健施設の保健・栄養サービスの活用を促進



Mother to Mother グループ
農業支援説明会の様子

2. 栄養・水衛生行動の改善



医療従事者による住民への栄養改善活動
(ミドイナ診療所, 2020年9月)



Mother to Motherグループ
栄養に関する知識強化研修の様子

COVID-19感染予防備品・設備の配布

- ・水タンク・三脚付き手洗い設備
- ・液体せっけん・消毒液
- ・マスク



3. 保健システムの強化



世帯登録支援
(リマ・ラ・ペラ診療所, 2020年8月)

県・準県の保健省に対して、本事業の紹介、
定期的な活動報告を実施。
保健省との間では事業進捗を定期的に報告・
評価する事業運営委員会が立ち上げられた

**1年次テーマ『保健人材・システムの基盤整備』を目指した活動を開始
COVID-19の影響により、必要に応じた支援活動を実施**